

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：甘木歴史資料館
- 2 指定管理者名：朝倉市
- 3 指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日
- 4 施設設置目的：甘木朝倉地方の考古・民俗・歴史資料の収集、保存及び展示
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
 - (1) 点検方法：事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果：別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴ある歴史民俗資料や各種文化財の調査研究、資料の収集や保存に努め、調査研究成果を積極的に展示及び公開する。 ・講座等の展開を通じ、文化財保護の普及に努め、施設の市民開放についても積極的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から提供された資料を展示に生かすとともに、市民自主展示を積極的に受け入れた。 ・甘木歴史資料館だより「温故」を発行し調査研究成果を公開した。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展に伴う形でギャラリートーク（展示解説）、公開講座を行うとともに、年次計画を基に講座を企画する。 ・解説シートの設置により、展示施設の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季企画展「平塚川添遺跡と邪馬台国の時代」を開催するとともに、関連してシンポジウム及びギャラリートークを行った（期間中入館者数：1,818名）。 ・秋季企画展「小石原現代陶芸展」を開催するとともに、関連して記念講演会及びギャラリートークを行った（期間中入館者数2,449名）。 ・新春企画展「玉龍と朝鮮—郷土の日本画家・徳田玉龍Part4—」を開催した（期間中入館者数616名）。 ・企画展「為朝伝承の聖地・朝倉」を朝倉高校史学部と連携し開催した。 ・各地の史跡や伝統文化にふれ、歴史・民族学習から現代を見つめ、郷土愛を深めることを目的として歴史バスハイクを実施した。 ・歴史資料館学習講座「ひみこ」を10回開催した（定員45名）。 ・入館者数 7,540人（対前年度比109.3%） ・高齢者・障がいのある人に対して、入口ドアやエレベーターの開閉を職員が行うなど必要な対応をしている。
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬等、人件費の抑制に努める。 ・旅費や使用料等の支出軽減に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料実績 9,625千円（対前年度比同額） ・学芸員が事務員を兼ねるなど、人件費抑制に努めている。 ・日常から職員が環境整備に積極的に取り組むなど、コスト削減に努めている。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・館長、副館長、事務学芸員を配置し、必要に応じて市職員との連携を図る。 ・常設展、企画展の企画及び管理にあたっては朝倉市との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝倉市文化課兼務常勤館長1名、県派遣学芸職員1名（副館長）、常勤嘱託学芸員（3名）を配置。 ・朝倉市文化課職員2名を資料館担当とし、展示や運営に協力するなどの連携を図った。

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料は燻蒸処置を行い、収蔵庫において湿度等に配慮しながら資料の管理保全に努める。 ・収蔵した資料は管理台帳に登録し、保存状態の把握に努め、その状態及び性質に応じた管理を適切に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵した資料については事業計画に沿って適切に保存している。また、資料管理台帳の整備を引き続き進め、その状態及び性質に応じたより適切な管理に努めている。 ・安全対策・危機管理に関しては、各種設備の法定点検及び定期的な消防訓練の実施により、適切に対応している。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <p>常設展や企画展のほか、関連する講演会やギャラリートーク、歴史バスハイク等の活動を継続するとともに、施設を自主展示のために市民に開放することで地域住民が歴史・民俗資料に触れる場を提供している。</p> <p>昨年度と比べ、入館者数は増加している。定期開催している学習講座「ひみこ」は毎年度好評を得ている。</p> <p>昨年度から引き続き、九州北部豪雨により被災した文化財について、九州歴史資料館と連携して科学的保存処理後の清掃等を実施し、文化財の保護に努めた。</p>
---	---